

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月31日

計画の名称	9 物流拠点間のアクセス強化による地域の産業活動を支える道路整備											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	北九州市											
計画の目標	北九州貨物ターミナルや太刀浦コンテナターミナル、北九州空港などの物流拠点間のアクセスを向上させ、物流ネットワークの強化を図る道路整備を行う。また、JRで分断された線路周辺地域を高架もしくはアンダー形式で接続することにより、線路周辺地域の円滑な道路環境を整備する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,496	A	4,496	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	(国)211号や(他)中貫長野1号線などを整備することにより、産業団地等の産業拠点から北九州空港などの物流拠点へのアクセスを向上させ、物流ネットワークを強化する。 物流ネットワーク道路の供用率 (物流ネットワーク道路の供用率) = { (アクセス道路供用延長) / (アクセス道路事業延長) }	0%	42%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	飛行場南線(中曽根地区)	道路新設 0.8km	北九州市						96	-	
		H28よりP1へ移行																	
	A01-002	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	砂津長浜線(長浜工区)	道路新設 1.0km	北九州市						192	-	
		H28補正よりP1へ移行																	
	A01-003	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	砂津長浜線(砂津地区)	道路新設 0.7km	北九州市						1,103	-	
		H28補正よりP1へ移行																	
	A01-004	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(他)楠橋楠北1号線	道路新設 0.7km	北九州市						1,417	-	
		H28よりP1から移行																	
	A01-005	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(他)中貫長野1号線	道路新設 1.1km	北九州市						311	-	
		H28よりP1から移行																	
	A01-006	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(1)中貫貫弥生が丘1号線	道路新設 1.63km	北九州市						65	-	
		H28よりP1から移行																	
	A01-007	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)495号竹並バイパス	バイパス 4.5km	北九州市						125	-	
		H28よりP1から移行																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)211号第1工区	現道拡幅 1.7km	北九州市						608	-	
		H28よりP1から移行																	
	A01-009	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)211号第2工区	現道拡幅 1.2km	北九州市							551	-
		H28よりP1から移行																	
	A01-010	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(他)横代南町山手1号線	道路新設 1.0km	北九州市							28	-
											小計						4,496		
											合計						4,496		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
北九州市建設局道路部道路計画課が事後評価を実施。 学識経験者に意見聴取を実施。 北九州市立大学 地域戦略研究所 内田教授 九州工業大学 大学院工学研究院 寺町准教授	令和3年度
	公表の方法
	北九州市ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「一般国道495号（竹並バイパス）」の新規整備により、若松区響灘地区のコンテナターミナルや臨海工業団地から福岡市方面へのアクセス機能が強化され、物流効果の向上や輸送コストの削減等、広域物流ネットワークが構築された。また、若戸トンネルの利用により、福岡方面から小倉方面へのアクセス向上にも寄与した。 また、「中貫長野1号線」及び「中貫貫弥生が丘1号線」の整備により、小倉南区から北九州空港へのアクセス強化が図られ、さらに、「一般国道211号（第1工区）」の現道拡幅整備により、都市高速道路（小嶺出入口）へのアクセス強化が図られ、広域物流ネットワークの構築・強化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	「一般国道211号」では、近年、隣接地域での土地区画整理事業や大規模住宅団地の開発が進められてきたため、周辺宅地からの発生交通量が本路線に集中し、また、当該路線がバス路線となっているため、特に朝夕のピーク時の渋滞が問題となっていた。現在、「第1工区」が供用開始され、4車線化したことにより、渋滞に対して一定の効果が図られている。 また、「一般国道211号」周辺には上津役小学校や大原小学校、八児小学校、上津役中学校、八児中学校と小中学校が多く、「中貫長野1号線」は整備後に貫小学校の指定通学路となっており、歩行空間の整備により通学児童や歩行者の安全安心の確保が図られている。
特記事項（今後の方針等）	
次期整備計画においても、事業継続中の一般国道211号（第2工区）、横代南町山手1号線等の路線について、郊外部や近隣都市との連絡機能強化の早期効果発現を図れるよう、着実に道路整備を推進する。 また、企業誘致や地場産業の振興に寄与する道路ネットワークの形成を図るとともに、渋滞箇所の解消や交通混雑緩和を図る。	

